



にぎわう場所。
はなやぐ街。

INTRODUCING OUR SPECIALTY: ALWAYS
INITIATING EVOLUTION, REDEFINING
"GARDEN, EXTERIOR, AND CONTRACT,"
AND MAKING EVERYONE SMILE.

第44期 中間事業報告書

2023年1月21日～2023年7月20日

株式会社タカシヨー

次世代の住環境を見据え、 新しい庭文化を創造する。

私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガーデニング&エクステリアを心豊かな生活文化と捉え、“ハート&アート”を基本テーマに様々な庭空間を皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なりません。

日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛とした和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパ

の文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。私たちは国内外に広がるグループネットワークを活かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け継がれる空間づくりを目指してまいります。

また“自然との共生による循環型社会の実現”も私たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカンパニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもちろん、企業活動全体の姿勢としてグループ一丸となって環境対応に取り組んでまいります。

Heart&Art



風 Wind

それは木々や草花を揺らし、季節を運び、人と自然を包みます。



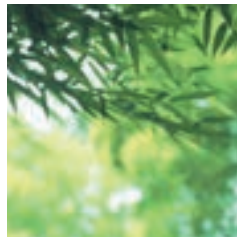
光 Light

それは世界を彩り、夢を織りなし、人と自然を照らします。



水 Water

それは生命を吹き込み、季節を充たし、人と自然を潤します。



緑 Green

それは大地に根ざし、大地を被い、人と自然を癒します。



心 Heart

五つのこだわり
真心こめて、
心がなごむ庭づくり

株主の皆様へ



代表取締役社長

高岡 伸夫

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてここに、2023年1月21日から2023年7月20日までの「第44期中間事業報告書」がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

～今後の成長に向けて経営を推進～

日頃は、タカショーグループの経営にご理解賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、市場環境は、コロナバブルと言われた3年近い巣籠の生活からの反動もあり、我々の園芸やエクステリア分野もその影響を受けました。また海外の紛争や物価の高騰により、市場はさらに厳しくなっております。

しかし、その期間中にグループのDX化が進み、メタバースやAR初め最新の技術を要する株式会社GLD-LAB.の設立、また営業の強化により、プロユース市場は厳しい市況の中、対前年度を上回る結果で進んでいます。そして、少しでも楽しく便利な、心地よい暮らしが求められ、ガーデニングや緑を中心とした、ストレスのない庭での暮らしが注目されるようになったことも、私達に非常に良い追い風になりました。

また、ローボルトのガーデンライトを中心に、LEDサインや各地のイルミネーションを手掛けるタカショーデジテックは昨対120%以上の成長を遂げ、今年の冬も各地を光で満ち溢れる活躍をさせていただいております。

物が市場からあふれる時代から、ガーデンにおけるライフスタイルやその暮らし方の提案やコミュニケーションを大事にし、5TH ROOM®のような家と庭の中間領域のガーデンライフスタイルメーカーとして、これからも市場ニーズにこたえてまいります。

そのための市場啓蒙と普及を目指し、本年も7月27日、28日の2日間、第20回タカショーガーデン&エクステリアフェア2023(TGEF2023)を開催し、リアル来場2,700名と、ZOOM参加2,000名、いずれもすべて業界の方々にご提案させていただきました。多くのお客様のご期待に、これからの私たちの市場の大きな可能性を感じました。

さらに一般の生活者に対しても、TVCMやネットCM、オウンドメディア、自社のプラットフォームをクロスマーケティングさせながら、積極的に情報発信を推進するなど、リアルとネットのハイブリッドカンパニーに変貌していております。

業績としては、海外の販売子会社が、コロナの反動や生活様式の変化における影響で、一時期売上が大きく下がりましたが、これからの手を打っていております。ホームユース事業部においても同様に厳しい市場の中、たくさんのお新品やE-コマースを駆使したD2C、また業務店など、クロス市場に向けての展開も早めていております。

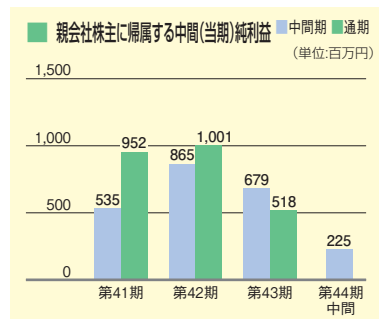
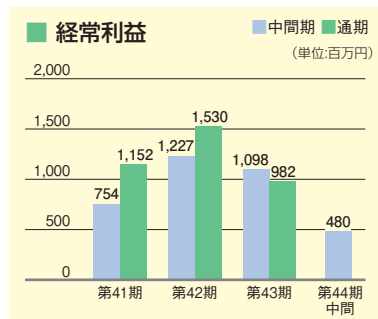
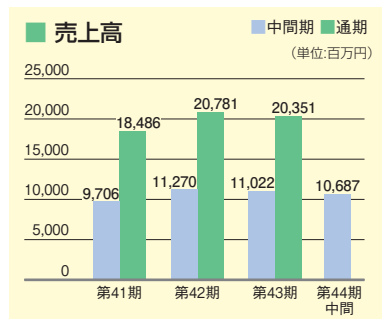
そして、今後の大きな動きとして、非住宅(ホテル、施設、公共、PF)のコントラクト事業で、LINKED CITY(リンクドシティ)構想の中、IoTを取り入れたスマートハウス「GXホーム」の発売を開始し、これからの防災や自然の中で暮らしたい方向けのセカンドハウス、またホテルや施設に使える新しい発想のスマートビレッジ「GXビレッジ」もスタートしました。

グループが一丸となり今後の成長の足元をしっかりと固め、製造から販売、IT、webサービスまで、今後の日本を豊かにしていくための「庭暮らし」に全力をかけてまいります。そして、これからの新しい組織や何より人材教育に力を入れ、販売促進もSNSやマスメディアと連動し、積極的な経営戦略に移行してまいります。「心身の健康と家族の笑顔のある暮らし」を目指し、タカショーグループはこれからも進化、成長してまいります。

株主様におかれましては、今後ともますますのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

		第40期 2020年1月期	第41期 2021年1月期	第42期 2022年1月期	第43期 2023年1月期	第44期 2024年1月期 中間期
売上高	(百万円)	17,357	18,486	20,781	20,351	10,687
経常利益	(百万円)	469	1,152	1,530	982	480
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	(百万円)	203	952	1,001	518	225
総資産	(百万円)	18,634	19,691	23,665	23,640	25,938
純資産	(百万円)	8,693	9,516	13,064	13,389	13,079
1株当たり中間(当期)純利益	(円)	13.93	65.36	65.00	29.60	13.13
自己資本利益率	(%)	2.4	10.6	8.9	4.0	1.7



中間連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第44期中間 2023年7月20日現在	第43期 2023年1月20日現在
●資産の部		
流動資産	17,210	15,383
固定資産	8,728	8,256
有形固定資産	6,537	6,246
無形固定資産	538	511
投資その他の資産	1,652	1,498
資産合計	25,938	23,640
●負債の部		
流動負債	11,593	9,386
固定負債	1,265	864
負債合計	12,859	10,250
●純資産の部		
株主資本	11,713	12,383
資本金	3,043	3,043
資本剰余金	3,098	3,099
利益剰余金	6,074	6,252
自己株式	△ 503	△ 12
その他の包括利益累計額	1,243	891
その他有価証券評価差額金	165	140
繰延ヘッジ損益	25	△ 7
為替換算調整勘定	978	751
退職給付に係る調整累計額	73	7
新株予約権	0	1
非支配株主持分	122	113
純資産合計	13,079	13,389
負債純資産合計	25,938	23,640

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第44期中間 2023年1月21日から 2023年7月20日まで	第43期中間 2022年1月21日から 2022年7月20日まで
売上高	10,687	11,022
売上原価	5,957	6,070
売上総利益	4,730	4,951
販売費及び一般管理費	4,343	4,165
営業利益	386	786
営業外収益	167	361
営業外費用	73	48
経常利益	480	1,098
特別利益	8	2
特別損失	18	—
税金等調整前中間(当期)純利益	470	1,100
法人税、住民税及び事業税	292	384
法人税等調整額	△ 50	32
中間(当期)純利益	228	683
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	3	4
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	225	679

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第44期中間 2023年1月21日から 2023年7月20日まで	第43期中間 2022年1月21日から 2022年7月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,099	△ 236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 396	△ 376
財務活動によるキャッシュ・フロー	639	416
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 117	326
現金及び現金同等物の増加額	1,224	129
現金及び現金同等物の期首残高	4,206	5,600
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	5,431	5,729

Market

●環境への取り組み 地球環境や人へのやさしさを追求しています。



リサイクル
(繰り返し使える)
Recycle

リデュース
(長持ちする)
Reduce

リユース
(部分的に再利用)
Reuse

▶3つのRへのこだわり

環境保全・再生に向けた環境産業への転換が地球環境再生への足がかりになると考えます。

ビオガーデン

人と自然とが共存しあえる、やすらぎのある水辺の空間をご提案しています。



「eco×Garden」

「環境のために私たちができること」をテーマに、エコを意識して「環境に配慮すること」と、これからの「庭」のカタチを考えることをかけ合わせ、「eco×Garden(エコ・ガーデン)」として取り組みます。



●物流システム

お客様の様々なニーズにお応えするため、物流拠点、物流システムの充実を目指しています。

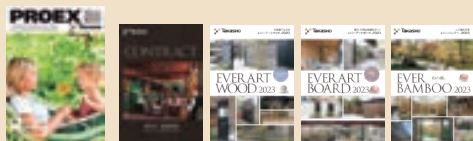


中央ロジスティックセンター

プロユース

PROガーデンエクステリア分野

戸建(新築、リフォーム)、ハウスメーカー様向け提案



総合カタログ

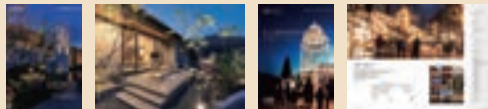
カテゴリーカタログ

コントラクト分野

公共事業、商業施設等の非住宅向け提案

LEDソリューション事業

屋外、屋内LED、イルミネーションの企画、販売



屋外照明
カタログ

イルミネーション
カタログ

庭PRO

ホームユース

ホームセンター、GMS事業

DIYで楽しめる商品を展開

自社ブランド「VEGTRUG」「美WOOD」「庭-KAGU」
「ひかりノベーション」「Coolaroo」

e-コマース、通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマース

海外 - 製造/販売/ネットワーク -

海外における製造拠点を中国に持ち、ヨーロッパ、イギリス、アメリカ、オーストラリア、インドなどグローバルに販売を展開

ガーデンセンター - ガーデナーズジャパン -

ガーデニング先進国であるヨーロッパスタイルの売り場づくりや提案方法を取り入れたモデル店をオープン

GADiS

HOT NEWS

「家と庭の心地よい豊かな暮らし」そして「人が集まる魅力溢れる街並み」 をテーマに第20回タカショーガーデン&エクステリアフェア開催!



2023年7月27日(木)、28日(金)にリアル(来場型)とオンラインの2つの形式にて、『タカショーガーデン&エクステリアフェア2023 (TGEF2023)』を開催いたしました。

今回で第20回目となるTGEF2023のテーマは『家と庭の心地よい豊かな暮らし／人が集まる魅力溢れる街並み』。サブテーマを『更なるDXとGX』とし、約4,500㎡の空間を「住宅」、「リフォーム」、さらには「コントラクト(非住宅)」と、多様なシーンで新たな価値を創造する外構の新商品やこだわりのデザイン空間を、DXとリアルを連動した形でご提案いたしました。



TGEF2023のダイジェストを公開中!
最新のタカショー庭・外構展示会の模様を
VRや動画で追体験できます。
https://ch.takasho.jp/ex_archives



TOPICS ▶▶▶

『第13回光の施工例コンテスト』

全国2,112店のライティングマイスター認定店を対象に、2023年で13回目となる『光の施工例コンテスト』をタカショーガーデン&エクステリアフェア2023の展示会場にて開催いたしました。

ご応募いただいた作品の中から、一次審査を通過した138作品を社名をふせて展示し、展示会場にご来場されたお客様による投票と社内審査により、グランプリ1点、準グランプリ2点、東京スカイツリーの照明デザインを手がけたシリオスライティングオフィス・戸恒浩人氏の選考による特別賞1点、入賞21点の合計25点の受賞作品を決定いたしました。

◆受賞作品

入賞作品、コンテストの詳細はライティングマイスターのウェブサイトでご覧いただけます。

URL : <http://lightingmeister.takasho.jp>



作品名:『影を楽しむ』



<設計者のコメント>

住宅建築前からのライティング計画にて、木の影を映すための壁・間接照明を際立たせるための階段と住宅の設計GLを設定。それぞれの光の影を楽しむため、互いが邪魔をしないよう光の配分に配慮しました。

■ プライム市場からスタンダード市場への選択申請ならびに適合状況について

当社は、2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所（以下「東証」）の規則改正および直近でのプライム市場の上場維持基準の適合状況を踏まえ、改めて今後の適合に向けた計画について検討した結果、2023年7月14日開催の取締役会において、スタンダード市場へ選択申請することを決議するとともに、申請いたしました。

- ・経過措置期間中に当該基準を充足しなかった場合、上場廃止となるリスク
 - ・当社の株主の皆様が不安を持つことなく安心して当社株式を保有・売買できる環境を整えることが重要だと判断
- 以上のことから“スタンダード市場”へ移行 2023年10月20日（予定）

当社は、プライム市場の上場維持基準の充足のための短期的な目線だけではなく、中長期的な目線で計画遂行のために経営資源を振り向けることが、当社の成長や企業価値向上に資すると判断し、スタンダード市場を選択することといたしました。なお、スタンダード市場への移行後も、さらなる企業の成長を図るとともに株式市場で適正な評価を得るために、事業活動の推進による中長期的な企業価値の向上と積極的なIR活動ならびに投資家とのコミュニケーションの強化等の取り組みにより、将来的に再度プライム市場への市場区分の変更を目指してまいります。

■ 配当政策の基本方針の変更

変更の目的

株主に対して、安定かつ充実した利益還元を行う姿勢をより明確にするため、1株当たり年間5円を下限とした上で、配当性向40%を目途とする配当額を決定することといたしました。

変更の内容

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題として認識し、今後とも安定的な経営基盤の確保と配当性向の維持向上に努めるとともに、業績に連動した配当を積極的に実施することを基本方針としております。配当額につきましては、当面の間、1株当たり年間5円を下限とした上で、配当性向40%を目途といたします。

変更実施時期

2024年1月期の期末配当より実施いたします。

■ 自己株式の取得

取得の理由

株主還元の充実と資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。

取得期間

2023年3月6日～2023年6月9日

取得結果

- (1) 取得した株式の総数 700,000株
- (2) 株式の取得価額の総額 492,465,800円

■ 第43期 定時株主総会

2023年4月12日(水)にタカショー本社にて新型コロナウイルス対策を講じ、「第43期定時株主総会」を開催いたしました。

株主総会では事業報告があり、議案について慎重に審議された結果、原案通り承認可決されました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役5名の件



株主総会の様子

会社の概要／株式の状況 (2023年1月20日現在)

会社の概要

商号	株式会社タカショー TAKASHO CO.,LTD.
本社	和歌山県海南市南赤坂20番地1
設立	昭和55年8月
資本金	3,043,623,249円
従業員	477名 ※内正社員348名
事業内容	環境エクステリア(インドアおよびアウトドア庭園、緑化)に関する製品の企画開発・ガーデン用品の輸出入販売・エクステリア商品のソフトウェア開発販売・CAD,C.G.ソフトウェアの提供および処理業務

役員

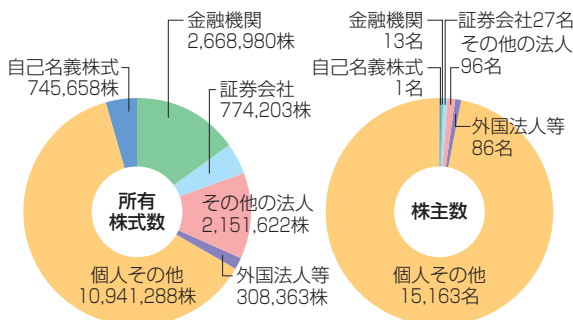
代表取締役社長	高岡 伸 夫	監査役(常勤)	井上 雅 也
取締役	高岡 淳 子	監査役(社外)	嶋津 裕 介
取締役	寒川 浩	監査役(社外)	水城 実
取締役(社外)	山田 拓 幸		
取締役(社外)	百瀬 伸 夫		

株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	16,844,456株 (自己株式745,658株を除く。)
株主数	15,386名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,556 千株
株式会社タカオカ興産	1,550
高岡伸夫	1,081
タカショー社員持株会	491
株式会社日本カステディ銀行(信託口)	309
SMBC日興証券株式会社	296
株式会社紀陽銀行	242
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	194
株式会社三菱UFJ銀行	194
橋本総業ホールディングス株式会社	169

株式分布状況



株主メモ

事業年度	1月21日から翌年1月20日まで
決算日	1月20日
配当金	1月20日現在の株主、中間配当実施のときは7月20日現在の株主に、それぞれ配当します。
定時株主總會	4月

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛てにお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/homepage/url/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに記載する。
<<https://takasho.co.jp>>

ただし電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

Global Network

From Kainan

海外タカショーグループ

佛山市南方高秀電子科技有限公司	広州オフィス
上海高秀園芸建材有限公司	コリアオフィス
満洲里高秀木業有限公司	ベトナムオフィス
江西高秀進出口貿易有限公司	EUオフィス
九江高秀園芸製品有限公司	シドニーオフィス
浙江正特高秀園芸建材有限公司	
香港高秀集團有限公司	
ベシトラグUK	
ベシトラグEU	
ベシトラグUSA	
タカショーオーストラレイジア	
タカショーインド	
タカショーフィリピン	

海外販売

- | | | | |
|-------|-----------|---------|----------|
| ●アメリカ | ●ドイツ他EU諸国 | ●イギリス | ●中国 |
| ●韓国 | ●台湾 | ●シンガポール | ●オーストラリア |
| ●インド | | | |

海外提携

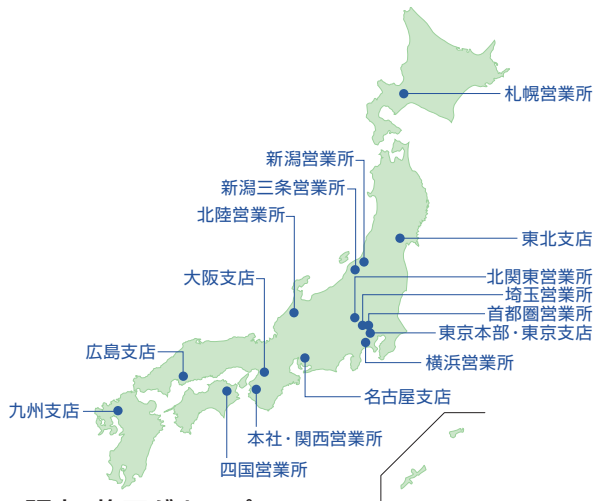
- | | | | |
|-------|----------|-------|-------|
| ●アメリカ | ●イギリス | ●イタリア | |
| ●オランダ | ●ドイツ | ●スペイン | |
| ●ブラジル | ●オーストラリア | ●台湾 | ●ベトナム |



TAKASHO

本社には国内外からのマーケティング情報を集約するとともに、プランニング機能、物流システム開発から品質管理、人材開発、お客様支援サービスの整備に至るまでのコア機能を集約させ、世界のグループネットワークを動かしています。

国内タカショーグループ



販売・施工グループ

トーコー資材株式会社

- ガーデン、園芸用品の販売、施工
- 当社商品の販売、施工、展示場

株式会社青山ガーデン

- ガーデン・エクステリア用品のインターネット通信販売
- タカショー製品および関連事業のマーケティング

生産グループ

ガーデンクリエイティブ株式会社

- エバーアートウッド関連商品の製造
- エクステリア関連商品の製造
- 人工竹製品の加工・組立
- 天然竹製品の加工・組立
- 商品開発および改良

株式会社タカショーデジテック

- LEDサインの企画・設計・製造・販売
- 屋外照明の企画・設計・製造・販売
- イルミネーションの企画・販売

制作グループ

株式会社3and garden

- ウェブサイトの企画・制作・運営

株式会社グリーン情報

- 雑誌・書籍の出版・販売

株式会社GLD-LAB.

- DXによるガーデン&エクステリアの空間デザインおよび販売

株主優待制度

① 株主優待ポイントの進呈

(ポイント数に応じて、タカショー自社商品をお選びいただけます。)

対象: 1月20日時点

案内発送時期: 3月上旬

(ポイント表)

保有株式数		進呈ポイント数	ポイント進呈時期
以上	未満		
500株	700株	3,000ポイント	毎年1月20日
700株	900株	4,000ポイント	
900株	1,000株	5,000ポイント	
1,000株	2,000株	8,000ポイント	
2,000株	3,000株	18,000ポイント	
3,000株	4,000株	35,000ポイント	
4,000株	5,000株	50,000ポイント	
5,000株		60,000ポイント	

② 株主様特別販売 (年2回ご案内をお届け)

※一部商品(主にガーデニング用品)を割引価格でご購入いただけます。

対象: 1月20日、7月20日時点
発送時期: 3月、11月



③ タカショー オリジナル カレンダー プレゼント (年1回発送)

対象: 7月20日時点
発送時期: 11月



「株主優待②」について、従来は商品を掲載したカタログを送付しておりましたが、ペーパーレス化による環境保全の一環として、ご案内のみの送付とさせていただきます。対象商品はWEB上でご確認ください。

詳細はこちら

ホームページ「株主優待制度」 https://takasho.co.jp/investor_others

特設サイト「タカショープレミアム優待倶楽部」 <https://takasho.premium-yutaiclub.jp>

やすらぎのある空間づくり

株式会社タカショー 本社 和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017

TEL 073-482-4128 (代表) FAX 073-486-2560 (代表) ホームページ <https://takasho.co.jp>

